

平成 27 年度 港区運営方針に関する自己評価の概要

資料 C-1

平成 28 年 6 月
区政会議資料

自己評価

1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

平成25年3月に策定した「港区将来ビジョン」に基づき、区政会議など区民の意見を反映する区政運営を横糸として、各小学校区の「地域活動協議会」を中心とした自律的な地域活動を縦糸として、横糸と縦糸が交わる強いネットワークで、港区にふさわしい区民主体のまちづくりをめざしており、特に防災の分野で地域防災力の強化など取組の成果が出ている。引き続き港区にふさわしい区民主体のまちづくりを進める。

解決すべき課題と今後の改善方向

本格化する少子・高齢化社会の中で、子育て支援や高齢者の見守りなど身近な生活課題の解決に住民どうしが協力して取り組むためには、「つながり」や「きずな」による更に豊かな地域コミュニティが必要となっている。今後、弁天町駅前土地区画整理記念事業の進捗などにあわせて、港区に更に豊かなコミュニティの醸成をめざす。また、このまちが持つ多彩な文化的・歴史的資源や都市としてのランドマークなど、港区の「強み」を活かしたまちづくりを進め、まち魅力の創造や発信を強化するとともに、子どもの学ぶ力、生きる力の育成や子育て支援に重点を置いた取組を強化し、住んでみたいと選ばれるまちづくりを進める。

経営課題 1 区民主体のまちづくり

戦略1-1 豊かなコミュニティづくりの促進

具体的取組		業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域の活動に対する広報の支援	概要版 P.4	目標達成	・地域活動団体間の協力・連携が深まり、それぞれの地域にあった活動が展開されつつある ・一方、活動の担い手の幅が広がらず、一部の担い手への役割の集中が大きな負担感になっている
(2) コミュニティ育成支援事業	P.5	目標達成	
(3) 校庭等の芝生化事業	P.5	目標達成	
(4) 戦後 70 年記念 大阪港周辺戦争体験・復興記録事業	P.6	目標未達成（未測定）	

【目標未達成状況】

(4) 戦後 70 年記念 大阪港周辺戦争体験・復興記録事業

戦争被害・戦後復興の認知度

【目標】：50%以上 ⇒ 【実績】 未測定

＜改善策＞

中学校での「記念誌」の活用。DVDビデオを様々な機会を用いて上映するほか貸し出すことで認知度を高める。

戦略1-2 区民主体のまちづくりの推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域活動協議会に対する補助事業 P.7	目標達成	・ 自律的・持続的な地域運営を促進するため、地域活動へのビジネス的手法の導入を促進する
(2) 新たな地域コミュニティ支援事業 P.7	目標達成	

戦略1-3 多様な協働の推進とコミュニティ・ビジネスの促進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 多様な協働による活力ある地域社会づくり事業 P.9	目標達成	・ 地域団体のほか、商店街や企業、NPOなどの多様な活動主体の協働を促進するとともに、これらの主体と行政が協働するマルチパートナーシップを進める
(2) 地域活動のコミュニティ・ビジネス化等の支援 P.10	目標達成	
(3) 広報紙配布事業の社会的ビジネス化 P.10	目標未達成 → 改善	

【目標未達成状況】

(3) 広報紙配布事業の社会的ビジネス化

広報紙配布事業を活用した地域

【目標】：11 地域 ⇒ 【実績】 8 地域（平成 26 年度は 7 地域）

＜改善策＞

社会的ビジネスの有用性を丁寧に説明するとともに、地域実情にあった社会的ビジネスの促進等により地域の自律的運営を促進する

経営課題 2 安全・安心・快適なまちづくり

戦略2-1 防災対策の強化

具体的取組

(1) 避難行動要支援者対策の促進	概要版 P.12
(2) 地域防災活動の支援	P.12
(3) 防災リーダーの育成	P.13
(4) 災害時における初期初動体制の強化	P.13
(5) 防災広報・啓発事業	P.13
(6) 区内外国籍住民への防災情報の提供	P.14
(7) 津波避難ビルの確保	P.14
(8) マンション内での共助の促進	P.14
(9) 防災サポーター登録企業等の確保	P.15
(10) 福祉避難所の設置運営	P.15

業績目標の達成状況

目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標未達成(撤退基準)⇒再構築
目標達成
目標達成

評価結果の総括

- ・地域活動協議会が主体となった防災学習会及び避難所開設訓練が全地域で開催され、地域防災力は向上している。
- ・大規模災害時に自助・共助・公助の役割のもと、迅速かつ的確な対応が行えるよう、区の特性を踏まえた防災対策を引き続き強化していく。

【目標未達成状況】

(8) マンション内での共助の促進

津波来襲時に低層階の住民が高層階に避難できる取組を行ったマンション数

〔目標〕：8 ⇒ 〔実績〕：1（撤退基準：4）

＜改善策＞

現時点において取組の目的は達成したものと判断し事業収束する。

戦略2-2 防犯対策の強化

具体的取組

(1) 地域防犯啓発事業	P.16
(2) 子どもの安全見守り防犯カメラ設置事業	P.16
(3) 子ども見守り隊活動に対する支援	P.17

業績目標の達成状況

目標未達成 ⇒ 改善
目標達成
目標未達成(撤退基準)⇒再構築

評価結果の総括

- ・区内の街頭犯罪発生件数は横ばい状態であり、子どもへの声かけ事案発生件数も減少していない。
- ・街頭犯罪の発生状況を踏まえた、臨機かつ機動的な防犯活動を展開する。

【目標未達成状況】

(1) 地域防犯啓発事業

防犯意識の向上した区民の割合

【目標】：前年度の5%増 ⇒ 【実績】：0.4%増

＜改善策＞

地域や警察との連携を強化し、より効果的・効率的な防犯啓発を行う。

(3) 子ども見守り隊活動に対する支援

子どもに対する声かけ安まちメール件数

【目標】：5件以下 ⇒ 【実績】：9件 (撤退基準：6件)

＜改善策＞

「こども 110 番の家」事業の充実。見守り防犯カメラの設置強化。

戦略2-3 歩行や移動の安全性の確保

具体的取組

(1) 自転車利用の適正化事業	P.18
(2) 弁天町駅周辺のバリアフリー化に向けた取組	P.19

業績目標の達成状況

目標未達成(撤退基準)⇒再構築
目標未達成(撤退基準)⇒再構築

評価結果の総括

- ・放置自転車への啓発等の取組の結果、放置自転車は減少傾向であるが、目標は未達成であり取組を強化する
- ・「車いす横断事業」について、登録者アンケートで継続希望の意見が多いため周知方法等を改善する

【目標未達成状況】

(1) 自転車利用の適正化事業

区内の放置自転車台数

【目標】：10,000台以下 ⇒ 【実績】 11,191台

(撤退基準：11,000台以下)

＜改善策＞

警察や道路管理者等と連携し、放置自転車の減少を図る

(2) 弁天町駅周辺のバリアフリー化に向けた取組

「車いす横断事業を今後も続けてほしい」と応えた利用者

【目標】：80%以上 ⇒ 【実績】 0% (利用者1名)

(撤退基準：50%未満)

＜改善策＞

利用時間の拡大及び車いす利用者に対する「横断事業」の周知強化

経営課題 3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

戦略3-1 地域福祉の推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域福祉アクションプランの推進支援 概要版 P.21	目標達成	・引き続き地域福祉の推進やセーフティネットの充実に努める。 ・介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療と介護の関係機関の連携による包括的な在宅医療・介護サービスや、多様な事業主体による生活支援サービスが提供される、地域包括ケアシステムの構築に重点的に取り組む。
(2) 高齢者等要支援者の見守り支援 P.22	目標未達成⇒改善	
(3) 障がい者等にかかる相談支援 P.22	目標達成	
(4) 児童虐待の防止の取組 P.23	目標達成	

【目標未達成状況】

(2) 高齢者等要支援者の見守り支援

見守り事業者の新規登録数

【目標】：60件 ⇒ 【実績】45件

<改善策>

広報を強化するとともに、事業者間での情報共有などを通して新規事業者の開拓をめざす

戦略3-2 区民の健康増進と生活環境の改善

具体的取組

- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 区民の健康増進 | P.24 |
| (2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上 | P.25 |
| (3) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 | P.25 |
| (4) 種から育てる地域の花づくり支援事業 | P.26 |

業績目標の達成状況

目標達成

目標達成

目標未達成⇒改善

目標達成

評価結果の総括

- ・平成 26 年度の特定健康診査の区民の受診率は、17.2%と 24 区中、最下位であった。
- ・区民の健康寿命の延伸のため、適度な運動の促進やがん検診等の受診率の向上などに取り組み、健やかにいきいきと暮らせるまちづくりをめざす。
- ・花と緑を育てる活動やまちの美化活動を促進するなど、より良い生活環境づくりに取り組む。

【目標未達成状況】

- (3) プロスポーツなどにふれられる機会の提供
区役所が提供した機会を利用した区民の数
〔目標〕：200 人以上 ⇒ 〔実績〕 152 人

＜改善策＞

プロスポーツをはじめ、高度なプレーに身近に触れられる観戦機会を拡充する。

【特記】 (2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上

- ※ 国民健康保険 特定健康診査 受診率
平成 25 年度：16.9% ⇒ 平成 26 年度：17.2%
(24 区中 24 番目 市平均：20.9%)
- ※ 平成 26 年度のがん検診 受診率
5 種類のがん検診のうち胃がん検診以外の受診率が市平均以下

戦略3-3 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

具体的取組

- | | |
|------------------------|------|
| (1) 区における人権啓発推進・人権相談事業 | P.27 |
|------------------------|------|

業績目標の達成状況

目標達成

評価結果の総括

- ・LGBT など今日的な人権課題に取り組み、多様性が尊重される共生社会づくりをめざす。
- ・今後、企画や周知方法を工夫し、若年層など新たな参加者のより一層の拡大を図る。

経営課題 4 子育て世代が魅力を感じるまちづくり

戦略4-1 子育てしやすい環境の整備

具体的取組

(1) 保育所待機児童への対応

概要版
P.29

(2) 子育て支援情報の提供・ネットワークづくりの支援
P.29

業績目標の達成状況

目標達成

目標達成

評価結果の総括

- ・小規模保育事業所の新設や、子育て支援機関や地域の子育て支援団体・グループとの連携による支援の取組など、子育てしやすい環境づくりを引き続き進める。
- ・子育て支援機関等と連携して積極的・一体的に子育て情報を分かりやすく発信し、より多くの子育て世代に「子育てしやすい」と感じていただけるよう、地域の身近なところで気軽に相談できる環境整備に取り組む。

戦略4-2 子育て世代の居住促進

具体的取組

(1) 港区に住む魅力の発信

P.30

業績目標の達成状況

目標達成

評価結果の総括

- ・豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力についてマスコミ等への情報提供等積極的に発信する。

戦略4-3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

具体的取組

(1) 学校園と連携した教育改革の推進、教育課題解決への取り組み	P.30
(2) 学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援	P.31
(3) 学校における発達障がいサポート事業	P.31
(4) 中1ギャップ問題の解決に向けた取組	P.32
(5) 港区サードプレイス事業（こどもの居場所づくり）	P.32
(6) 絵本によるこどもの読書活動の促進	P.33
(7) 地域の強みを活かした教育力向上事業（こどもサイエンスカフェ）	P.33
(8) こどもの英語でのコミュニケーション能力を高める英語交流事業	P.34
(9) 青少年の健全育成の推進	P.34

業績目標の達成状況

目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標未達成(撤退基準)⇒再構築
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成

評価結果の総括

- ・ 学校園や地域等との連携を強化して、課題を有する子どもに対し地域のボランティアと協働した居場所の開設のほか、港区の強みを活かしたスケート教室や英語カフェの開催など、港区独自の新たな教育事業を実施し、子どもの学ぶ力、生きる力を育む環境づくりを推進する。
- ・ 子どもや子育てを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、今後、引き続き分権型教育行政の推進を図るとともに、学校や保護者、地域等と連携して、子どもの学力・体力や教育環境の向上に引き続き重点的に取り組む。

【目標未達成状況】

(5) 港区サードプレイス事業（こどもの居場所づくり）

複数回利用者の割合

〔目標〕：50%以上 ⇒ 〔実績〕 12.5%

（撤退基準：30%未満）

＜改善策＞

対象とする子どもに「不登校児童・生徒」が含まれていることなど広報の強化と、開催日を増やすなど参加しやすい環境を整える